

児童が作るNIE計画

新聞活用学習の
年間計画表
2011年度、
上庄小4年生の例



上半分は学校ぐるみの取り組みだよ



下半分は学級での取り組みよ



1年の流れ
1学期 夏休み 2学期 冬休み 3学期

- 年間&1学期の新聞活用学習を考える
授業アイデアを教師たちが出し合う
- 1学期分の計画表を担任が作成
2,3学期分は空欄のままにして枠を作っておく
- 子どもたちと計画作り
総合学習2時間を使い、子どもたちが全教科書のこれから学ぶ部分を見ながら、2,3学期の授業アイデアを出し合う
- 毎朝の新聞スクラップとスピーチがベースになっているんだって
- 学年末 学習計画表が完成

「新聞って、授業でどう使うの?」。今も多くの先生からこんな声がやまない中、福井県大野市立上庄小学校では子どもたちが自らNIE年間計画表を作り、各地から注目を集めている。どの教科のどの単元でどう新聞を使うかが一目瞭然。どうやってこの計画表を作るのか、9月に行われた上庄小の授業を訪ねた。

「1年」を1×3メートルに 学年ごと

上の写真は、昨年度の4年生(現5年生)が新聞を使った学習をまとめた一覧表だ。縦1メートル、横3メートルほどの大きな紙に書かれている。
 上半分が、学校ぐるみの活動。気になる記事を紹介する屋の校内テレビ放送「上庄ホット(KH)ニュース」、家族と記事を話題にする「ファミリーフォーカス」なども書かれている。
 下半分が、学級での活動。国語「新聞を作ろう」、理科「月の動き」など教科と単元を記入し、授業後、写真や記事、作品などを貼る。年度末には計画表がそのまま実施記録になる。
 この表は、2,3学期分の案を児童が出していることも特徴だ。学年ごとに作って廊下に貼り出され、誰でも見ることができる。次の学年の表を目にした児童は「来年になったら、次はこんなことをするんだ」と先を見通すことができ、やる気につながり、社会への関心を広げているという。

かみしょう 上庄小(福井県大野市)



学習計画作りの様子



- ① 4年生時や1学期の計画表を見ながら、新聞を使った学習を振り返る
- ② 自分なら新聞を使ってどんな授業がやりたいか、5年生の教科書をめくりながら考える。教科別にグループを作り、アイデアを出し合う



- ③ 新聞を使いたい教科と単元を、付せんに大きく書く
- ④ できあがった付せんに、一覧表の2、3学期の部分に貼る



- ⑤ グループごとに前に出て、自分たちのアイデアを発表

6 2、3学期の案完成

子どもたちのアイデアは授業に生かされる。授業後、写真や記事などを貼り、年度末に完成



単元名貼りつけ

「新聞の写真を、国語で俳句にしたら」「グラフを集めたら、算数の勉強になりそう」

9月6日、上庄小の視聴覚室は、5年生約40人で熱気にあふれていた。「2、3学期に、新聞を使ったどんな授業がやりたいか」を、8班に分かれて考えているところだった。

手には、5年生用の国語、理科など7教科の教科書。これから学ぶ部分の教科書をじっくりと読む子もいれば、楽しげにめくる子も。アイデアが浮かんだ班は、教科と単元名を付せんに書いて、一覧表の2、3学期部分にそれぞれ貼りつけていく。

その数15本。「社会科で、生き物が住みやすくなる記事を集めたい」「家庭科で各県の名物料理を調べてまとめた」……。各班の発表を児童たちはじっと聞き入った。2組の沢田唯菜さんは「考えた案が使われたらうれしい。新聞で世の中をもっといろいろ知りたいな」と楽しそうだった。

アイデア次々

新聞を使った上庄小の学習は、2010年春に本格的に始まった。古川典子教諭によると、「いいねと児童を褒める」「面白い記事を教師が紹介する」などのコツがあったという。

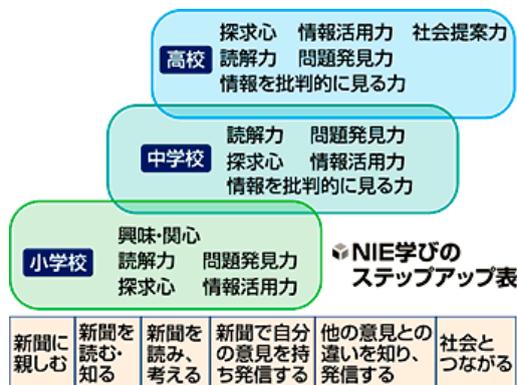
まず始めたのは、毎朝の「新聞スクラップ」と「新聞スピーチ」。2学期に活動が拡大し、昼の放送「KHニュース」は自己表現の場として全校で大人気となった。コンテストなど他の学校全体の活動にも力を入れ、学校ぐるみで楽しむ雰囲気が出ていった。

1年目の終わりに6学年分をまとめた先生向けNIE指導計画表を作成した。

児童が授業案を考えたのは、2年目から。やってみると、次々と授業案が飛び出し、児童が見る学習計画表第1号も今春できた。

3年目の今、先生が頑張らなくてもNIEを児童自らが進め、歯車を回す状態が生まれているという。

長期の学習展望



この学習計画表は、寺尾健夫・福井大教授が提示した「NIE学びのステップアップ表」(上は表の一部)がベースだ。どんな能力をどんな道筋で育てるか、新聞を使った長期の学習展望を表し、学習内容を高校まで段階的に発展させていく全体像が一目で分かる。

上庄小の先生向けNIE指導計画表(右)も、ステップアップ表が基になっている。3世代同居率が高い自然豊かな上庄小の特色が生かされ、小学校6年間の学びの深まりが一望できる。例えば1年国語単元「写真をよく見て書こう」で題や文を付けるなど「新聞に親しむ」ことから始め、

